



## 2023年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年7月31日

上場会社名 東亜合成株式会社

上場取引所 東

コード番号 4045 URL <https://www.toagosei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高村 美己志

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 松田 明彦 TEL 03-3597-7215

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 2023年9月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	76,947	1.3	4,746	39.9	6,172	34.2	5,469	26.0
2022年12月期第2四半期	77,977	5.1	7,891	12.5	9,387	4.6	7,391	5.4

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 9,986百万円 (17.7%) 2022年12月期第2四半期 8,488百万円 (24.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	45.71	
2022年12月期第2四半期	59.36	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	266,078	210,711	78.8
2022年12月期	265,135	210,807	77.7

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 209,731百万円 2022年12月期 205,969百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期		18.00		18.00	36.00
2023年12月期		20.00			
2023年12月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	162,400	1.0	10,500	27.0	12,000	27.0	10,300	17.6	87.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

詳細は、四半期決算短信(添付資料)10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

## (4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期2Q	122,100,000 株	2022年12月期	122,100,000 株
期末自己株式数	2023年12月期2Q	3,518,606 株	2022年12月期	994,783 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期2Q	119,663,515 株	2022年12月期2Q	124,511,806 株

(注)2023年12月期2Qの期末自己株式数および期中平均株式数(四半期累計)の算定上控除する自己株式数には、従業員向け株式交付信託が保有する当社株式が含まれております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想には、本資料の発表日現在入手可能な情報に基づく予想が含まれております。実際の業績は、今後さまざまな変動要因により、上記数値と異なる可能性があります。上記業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### (ア) 当第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間（2023年1月1日から2023年6月30日まで）の世界経済は、ウクライナ戦争終結の兆しが見えない中、米中覇権争いによるデカップリングの進展、中国経済の回復ペースの鈍化など、先行きの不透明さが一段と増しました。

わが国経済は、緩やかなインフレを目標とした金融緩和策が継続される中、大幅な賃上げ、アフターコロナによる経済活動の正常化、インバウンド消費の増加などにより景気回復への期待が高まっています。一方、半導体需要の減少に見られるように、製造業では電気・電子製品などの生産数量は減少し、一部の工業用製品の需要は低迷しました。

このような状況下、当社グループは高機能製品の開発および拡販に注力しながら事業を推進してまいりました。その結果、売上高は769億4千7百万円（前年同期比1.3%減収）、営業利益は47億4千6百万円（前年同期比39.9%減益）、経常利益は61億7千2百万円（前年同期比34.2%減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は54億6千9百万円（前年同期比26.0%減益）となりました。

#### (イ) セグメント別の業績

2023年1月1日付で組織変更を実施し経営管理区分を変更したことに伴い、第1四半期連結会計期間から、従来「基幹化学品事業」セグメントに含めていたサステナビリティ関連事業を「その他」セグメントに移管しております。なお、前年同期比につきましては、変更後の区分方法により作成した前第2四半期連結累計期間の数値と比較しております。

#### ①基幹化学品事業

電解製品は、自動車部品や電子製品関係などでの需要が回復せず全般的に販売数量減となりましたが、昨年から価格改定もあり増収となりました。アクリルモノマー製品は、主に海外市況の悪化により減収となりました。工業用ガスは、自動車部品等の生産数量減少の影響を受け販売数量減となりましたが、価格改定により増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は351億2百万円（前年同期比0.2%増収）となりました。

営業利益は、昨年から原燃料価格の高騰に対応し価格改定をいたしましたが、全般的な販売数量減やアクリル製品の海外市況悪化により、22億5百万円（前年同期比42.9%減益）となりました。

#### ②ポリマー・オリゴマー事業

アクリルポリマーは、自動車部品向けが販売数量減となりましたが、昨年から原燃料価格高騰に対応した価格改定もあり、前年並みの売上高となりました。アクリルオリゴマーは、ディスプレイ関係などでの需要減少による販売数量減で減収となりました。高分子凝集剤は、土木関係および海外向けの販売数量減により減収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は164億2千5百万円（前年同期比8.7%減収）となりました。

営業利益は、全般的な販売数量減により、13億3千9百万円（前年同期比41.8%減益）となりました。

#### ③接着材料事業

家庭用は、ホームセンターの来店客数減による販売数量減などで減収となりました。機能性接着剤は、スマートフォン用電子部品や自動車部品向けは販売数量減となりましたが、車載用電池向けの販売数量増により増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は56億8百万円（前年同期比3.3%増収）となりました。

営業損益は、スマートフォン用電子部品や自動車部品向けの販売数量減や研究開発費の増加により、1億6千1百万円の損失となりました。

#### ④高機能材料事業

高純度無機化学品は、半導体市況低迷の影響を受け販売数量減となりましたが、原燃料価格高騰に対応した販売価格の改定もあり、前年並みの売上高となりました。無機機能材料は、電子部品向けのイオン捕捉剤が販売数量減となり減収となりました。また、メディカルケア製品では試験用サンプルとしての販売があり増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は52億8千5百万円（前年同期比6.0%増収）となりました。

営業利益は、販売数量減の影響により、9億5千9百万円（前年同期比16.2%減益）となりました。

#### ⑤樹脂加工製品事業

管工機材製品は、住宅着工戸数低迷による販売数量減で減収となりました。ライフサポート製品は価格の改定と新製品の好調な販売により増収となりました。エラストマーコンパウンドは、事務機器や飲料容器向けなどの販売数量増により増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は135億8千9百万円（前年同期比0.9%減収）となりました。

営業利益は、主に管工機材製品の販売数量減の影響により、6億6千9百万円（前年同期比17.6%減益）となりました。

#### ⑥その他の事業

新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業などにより構成される当セグメントは、商社部門で増収となり、売上高は9億3千6百万円（前年同期比12.3%増収）となりました。

営業損益は2億7千2百万円の損失となりました。

### （2）財政状態に関する説明

#### ①資産、負債および純資産の状況

資産合計は、「現金及び預金」などの流動資産が減少しましたものの、保有株式の時価の上昇により「投資有価証券」が増加しましたため、前連結会計年度末に比べ9億4千3百万円、0.4%増加し、2,660億7千8百万円となりました。

負債合計は、繰延税金負債の増加により固定負債の「その他」が増加しましたため、前連結会計年度末に比べ10億3千9百万円、1.9%増加し、553億6千7百万円となりました。

純資産合計は、「その他有価証券評価差額金」が増加しましたものの、連結子会社であるMTアクアポリマー株式会社の出資比率引上げにより「非支配株主持分」が減少しましたため、前連結会計年度末に比べ9千5百万円、0.0%減少し、2,107億1千1百万円となり、自己資本比率は78.8%となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益が減少しましたが、棚卸資産および法人税等の支払額が減少しましたため、前年同期に比べ収入が24億1千7百万円増加し、136億7百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が減少しましたため、前年同期に比べ支出が48億1千6百万円減少し、44億5千4百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、非支配株主への配当金の支払額および子会社株式の取得のための支出が増加しましたため、前年同期に比べ支出が70億2千5百万円増加し、131億7千2百万円の支出となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の残高は410億8千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ37億4千9百万円の減少となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

文中の将来に関する事項は、本資料の発表日現在において、当社グループが判断したものです。

当第2四半期連結累計期間の業績は、車載用電池向け製品などの開発製品は販売が増加したものの、基幹化学品をはじめとした多くの製品で販売数量減となっております。第3四半期以降の経済状況は、ウクライナ情勢、米中覇権争いの動向など、先行きは不透明で予測困難な状況が続く見込みですが、サプライチェーン、市況、原燃料価格などの動向に注意を払いながら柔軟に対応し、事業拡大と収益確保に努めてまいります。

このような状況の下、需要が回復してきた分野や販売が好調な開発製品もありますが、2023年12月期通期の売上高、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は、2023年2月10日に発表しました連結業績予想を下回ると予想いたします。

また、当社は資本コストや株価を意識した経営の実現に向け、資本効率の向上を図るため2025年中期経営計画期間は、期間総還元性向100%を目途とする株主還元を行うこととし、剰余金の配当も増額いたしますので、2023年7月31日発表の「2023年12月期連結業績予想の修正ならびに剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想の修正に関するお知らせ」において修正を行っております。

#### <2023年12月期連結業績予想>

通期（2023年1月1日～2023年12月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想（A） （2023年2月10日発表）	178,800	14,000	14,800	10,600	89円33銭
今回修正予想（B）	162,400	10,500	12,000	10,300	87円01銭
増減額（B-A）	△16,400	△3,500	△2,800	△300	—
増減率（%）	△9.2%	△25.0%	△18.9%	△2.8%	—
（ご参考）前期実績 （2022年12月期）	160,825	14,382	16,446	12,494	101円31銭

#### 期末配当予想の修正の内容

	1株当たり年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 （2023年2月10日発表）	18円00銭	18円00銭	36円00銭
今回修正予想		20円00銭	40円00銭
当期実績	20円00銭		
（ご参考）前期実績 （2022年12月期）	18円00銭	18円00銭	36円00銭

（注1）当社のPBR改善に向けた取組みについては、8月初旬に別途開示いたします。

（注2）予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断した数値であり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想値とは異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	40,366	36,871
受取手形及び売掛金	49,848	47,002
有価証券	18,000	17,000
棚卸資産	25,511	26,947
その他	5,309	5,323
貸倒引当金	△50	△47
流動資産合計	138,985	133,097
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	27,467	26,963
機械装置及び運搬具（純額）	24,399	24,613
土地	29,146	29,208
その他（純額）	9,761	11,400
有形固定資産合計	90,774	92,186
無形固定資産		
投資その他の資産	1,592	1,597
投資有価証券	28,472	33,774
退職給付に係る資産	2,704	2,841
その他	2,612	2,588
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	33,782	39,197
固定資産合計	126,150	132,981
資産合計	265,135	266,078

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,653	18,492
短期借入金	2,475	2,474
未払法人税等	2,176	1,629
引当金	16	15
その他	13,470	14,589
流動負債合計	37,792	37,201
固定負債		
長期借入金	8,590	8,520
退職給付に係る負債	117	121
株式給付引当金	—	21
その他	7,828	9,503
固定負債合計	16,535	18,166
負債合計	54,328	55,367
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,886	20,886
資本剰余金	15,095	14,196
利益剰余金	158,154	161,444
自己株式	△1,081	△4,177
株主資本合計	193,053	192,349
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,598	13,300
為替換算調整勘定	3,471	4,236
退職給付に係る調整累計額	△154	△155
その他の包括利益累計額合計	12,915	17,381
非支配株主持分	4,837	979
純資産合計	210,807	210,711
負債純資産合計	265,135	266,078

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	77,977	76,947
売上原価	56,068	57,885
売上総利益	21,908	19,062
販売費及び一般管理費	14,017	14,316
営業利益	7,891	4,746
営業外収益		
受取利息	20	111
受取配当金	604	636
持分法による投資利益	136	174
為替差益	769	345
固定資産賃貸料	108	89
その他	109	256
営業外収益合計	1,748	1,613
営業外費用		
支払利息	41	63
環境整備費	166	43
遊休設備費	12	6
その他	32	73
営業外費用合計	253	187
経常利益	9,387	6,172
特別利益		
投資有価証券売却益	1,000	1,452
補助金収入	283	79
特別利益合計	1,283	1,531
特別損失		
固定資産処分損	380	103
投資有価証券評価損	112	3
特別損失合計	492	107
税金等調整前四半期純利益	10,178	7,595
法人税等	2,658	2,104
四半期純利益	7,520	5,490
非支配株主に帰属する四半期純利益	129	20
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,391	5,469

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	7,520	5,490
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△762	3,704
為替換算調整勘定	1,758	793
退職給付に係る調整額	△28	△1
その他の包括利益合計	967	4,495
四半期包括利益	8,488	9,986
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,296	9,935
非支配株主に係る四半期包括利益	191	50

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	10,178	7,595
減価償却費	5,311	5,283
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△4
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	—	21
その他の引当金の増減額 (△は減少)	3	△1
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△180	△138
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	3	3
受取利息及び受取配当金	△625	△747
支払利息	41	63
為替差損益 (△は益)	△669	△340
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,000	△1,452
投資有価証券評価損益 (△は益)	112	3
持分法による投資損益 (△は益)	△136	△174
補助金収入	△283	△79
固定資産処分損益 (△は益)	380	103
売上債権の増減額 (△は増加)	212	2,975
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△4,501	△1,254
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,850	△1,233
その他	2,110	4,621
小計	13,806	15,247
利息及び配当金の受取額	679	750
利息の支払額	△45	△67
補助金の受取額	398	79
法人税等の支払額	△3,648	△2,401
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,190	13,607
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	6,667	1,108
投資有価証券の取得による支出	△106	△183
投資有価証券の売却による収入	1,129	1,674
有形固定資産の取得による支出	△15,955	△6,550
その他	△1,005	△503
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,270	△4,454
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△73	△70
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△2,849
自己株式の売却による収入	0	4
自己株式の取得による支出	△1,354	△3,151
自己株式取得のための預託金の増減額 (△は増加)	△2,147	△2,851
リース債務の返済による支出	△104	△89
配当金の支払額	△2,371	△2,178
非支配株主への配当金の支払額	△97	△1,987
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,147	△13,172
現金及び現金同等物に係る換算差額	703	268
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,523	△3,749
現金及び現金同等物の期首残高	46,504	44,839
現金及び現金同等物の四半期末残高	42,980	41,089

#### (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年2月10日開催の取締役会決議に基づく自己株式2,591,600株の取得などを行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間にて自己株式が3,095百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が4,177百万円となっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしています。これによる当第2四半期連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

(従業員向け株式報酬制度)

当社は、当社従業員(以下「従業員」という。)に対する福利厚生制度を拡充させるとともに、従業員の当社業績や株価上昇への意識を高めることにより、業績向上を目指した業務遂行を一層促進し、当社の中長期的な企業価値向上を図ることを目的として、従業員向け株式報酬制度(以下「本制度」という。)を2023年4月に導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として信託(以下「本信託」という。)を設定し、本信託が当社普通株式(以下「当社株式」という。)の取得を行い、従業員のうち一定の要件を充足する者に対して付与されるポイントに基づき、本信託を通じて当社株式を交付するインセンティブ・プランです。当該ポイントは、当社取締役会が定める株式交付規程に従って、従業員の役職等に応じて付与されるものであり、各従業員に交付される当社株式の数は、付与されるポイント数により定まります。

本信託による当社株式の取得資金は、全額当社が拠出するため、従業員の負担はありません。

(2) 信託に残存する自社の株式

本信託に残存する当社株式を、本信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額および株式数は、当第2四半期連結会計期間末において、476百万円、387千株であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	基幹化学 品事業	ポリマー・ オリゴマー 事業	接着材料 事業	高機能 材料事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	35,020	18,000	5,430	4,983	13,708	77,144	833	77,977	—	77,977
セグメント間の内部 売上高または振替高	2,665	703	40	110	164	3,684	759	4,444	△4,444	—
計	37,685	18,703	5,470	5,094	13,873	80,828	1,592	82,421	△4,444	77,977
セグメント利益	3,863	2,300	59	1,145	812	8,181	△297	7,883	7	7,891

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	基幹化学 品事業	ポリマー・ オリゴマー 事業	接着材料 事業	高機能 材料事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	35,102	16,425	5,608	5,285	13,589	76,011	936	76,947	—	76,947
セグメント間の内部 売上高または振替高	2,009	747	104	135	320	3,317	775	4,092	△4,092	—
計	37,112	17,172	5,713	5,420	13,910	79,328	1,711	81,040	△4,092	76,947
セグメント利益 または損失 (△)	2,205	1,339	△161	959	669	5,011	△272	4,738	7	4,746

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2 セグメント利益または損失の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益または損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの区分変更)

2023年1月1日付で組織変更を実施し経営管理区分を変更したことに伴い、第1四半期連結会計期間から、従来「基幹化学品事業」セグメントに含めていたサステナビリティ関連事業を「その他」セグメントに移管しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。